

# 地域経済の好循環拡大へ

沖繩公庫  
フォーラム

## 関係者ら120人が参加

沖繩公庫フォーラム2015 in 宮古が5日、市内のホテルで行われた。同フォーラムには関係者など120人が参加した。講演では西川和宏さん（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局企画官）が「まち・ひと・しごと創生」について「民間企業の地方創生への関与」と題して講話したほか、株式会社価値総合研究所の山崎清さんも「地域経済好循環拡大に向けた取り組みについて」をテーマに話した。

同フォーラムでは地方における雇用創出と人口増加の好循環による地方創生の基本方針を示し、国としての総合戦略を策定している中で地方創生に関する国の取り組みなどについて理解を深めるために講師を招いて講演会が行われた。

地域の実情や企業の業況をよく知る地域金融機関への積極的関与が必要となる。地域の経済活性化のために金融機関と地方自治体が個別に対応するのではなく、とるべき戦略について相互の連携を図りながら閃絡の策定・遂行を行うことでその実効性が高まることを期待する」と強調した。

このほか、沖繩振興開発金融公庫の具志堅忠昭理事があいさつを行い、講演会終了後には交流会も行われ親睦を深めた。



西川和宏さん

このうち西川さんは「地域創世の仕組みとして、し



地域創生への取り組みについて説明を真剣に聞く参加者たち＝ホテルアトールエメラルド宮古島

# 「見える化」が第一歩

沖繩公庫  
フォーラム  
経済活性化で提言



沖繩金融公庫は7日、那覇市のホテル日航那覇グラウンドキャッスルでフォーラムを開いた。内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局企画官の西川和宏氏と価値総合研究所の山崎清氏が

地方経済の活性化や地方創生の方策について講演した。西氏は地域の特性や強みなどの現状を把握する「地域経済の見える化」を進

地域経済活性化についての講話に  
耳を傾ける参加者

めることが、経済活性化の第一歩になると強調した。

最初に登壇した西川氏は

「地方経済の活性化には「地元金融機関の関与が重要だ」と指摘。従来の金融機関が行う融資ではなく、地域活性化ファンドを通じた出資など、金融機関と行政が一体となって、地場産業の「稼ぐ力」を高めていく必要があるとした。

山崎氏は公共交通を活用した街づくりを行うことで「人の滞留時間が長くなり、中心市街地が活性化する」と提言。「地域のサービレベルにかかわらず、大型ショッピングセンターやロードサイド店と競争可

能な状態に中心市街地を容させることが重要だ」と話した。